

米俵で飯島町を元気に!! 事業

取組に至る背景・事業の目的

- ・飯島町は県内有数の米の産地であり、耕地面積の8割を稲作が占めています。飯島町は江戸幕府の直轄領として良質な米を生み出してきましたが、後継者不足や米価格の下落、米消費量の減少など飯島町の稲作を取り巻く環境は非常に厳しくなっている。
- ・そのような状況の中で、飯島町の稲作の活性化、飯島産米のPR、失われつつある米俵の伝統技能の継承や米俵の良さを知る機会を創出するために、米俵を用いたマラソンイベントを開催し、地域住民のボランティア協力を得ながら飯島町の活性化に繋がる取組である。

事業内容

- ・「めしのしま」飯島町の知名度の向上と地域の活性化を図るため米俵をテーマにしたマラソンイベントを実施した。
- ・地域住民のボランティアとともにイベントを実施し、飯島町内の交流人口の促進と知名度向上に寄与した。
- ・マラソン後はマラソン参加者へ飯島産米を無料提供する食のイベント「飯島町ごはんですよ」にて飯島産新米を振る舞い米をPRした。
- ・マラソンランナーとの交流を目的に米俵製作ワークショップを開催した。
- ・米俵職人を養成し、伝統技能を継承した。



【大会の様子】

事業効果

- ・米俵マラソンが全国放送や全国紙で取り上げられるようになり、飯島町の知名度は飛躍的にアップした。
- ・大会当日だけでも300名以上のスタッフが参加し、沿道の応援や後方支援、物品の提供、協賛を含めると1,000人以上の参加があるなど、米俵によるまちづくりの広がりを実感している。
- ・米俵マラソンを通して飯島町の知名度がアップしたことにより、町外からのマラソン参加者が飛躍的に増えたとともに、Facebookでは1つの記事で8,000人以上の閲覧があるまでになった。回数を重ねるごとに参加者が増え、手応えを実感している。Facebookで俵富士を紹介したところ、それ目当てに県外から来る観光客が増加した。また沿道での応援と写真撮影のために町外から多くの観光客が来町した。
- ・米俵マラソンで50俵の米を消費販売し、食のイベント「飯島町ごはんですよ」では3俵の米を完食するなど、米の消費拡大に貢献できた。
- ・TBSテレビの「クイズ☆スター名鑑」の企画でタレントのボビーオロゴンさんが参加し、番組で取り上げられた。
- ・失われつつある米俵製作の伝統技能を継承することができ、米俵職人が10名以上となった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

平成29年度11月に実施する第5回米俵マラソンの開催に向けて、多くの住民を巻き込んだ取組を進めるとともに、飯島町役場と共同で組織体制を盤石化し米俵マラソンが継続できる環境づくりに取り組む。

【選定のポイント】

「めしのしま」の町として古くから米作りが盛んで、農業が基幹産業である飯島町の特徴を生かし、飯島産米とマラソンを組み合わせた新しいイベントを開催し多くの参加を得るとともに、伝統技能である米俵の制作技術の継承を図った。県内外から800名を超える参加があったほか、300名以上の町民ボランティアの参加など地域振興に寄与した。

団体名	飯島町米俵マラソン実行委員会(飯島町)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	事務局：0265-95-4881	事業費	6,327,318円
ホームページ	http://www.komedawara.jp	支援金額	1,224,000円
メールアドレス	info@komedawara.jp		